

たるが如く〔昭〕禮可汗死したる後、親弟薩特勤を冊したりとせるも、此の記事も到底認め得べきに非ず、何となれば薩特勤といふは勿論前記の曷薩特勤に相當する名なれば、昭禮可汗の特勤としての名にして、決して其の親弟の名たるべきに非ず、されば其の薩特勤といふものは、全く昭禮可汗の從子にして而して可汗の後を繼ぎたる胡特勤を誤りたるものに外ならず。

翌太和七年四月唐は新に立てる可汗を冊して彰信可汗とせり、彰信可汗は開成四年（八三九年）其の宰相掘羅勿の亂によりて殺され、^{〔二五七〕} 曷颯（或は曷颯、晉颯）可汗の立ちしことは又新唐書回鶻傳・冊府元龜繼襲篇・唐會要等の一致する所なり。

曷颯可汗の死は武宗即位の開成五年（八四〇年）なりしが如く、新唐書回鶻傳に「武宗即位、^{〔二五八〕} 以嗣澤王溶、臨告、乃知其國亂、俄而渠長句錄莫賀、與黠戛斯、合騎十萬、攻回鶻城、殺可汗、誅掘羅勿」と見え、唐會要にも、「曷颯可汗未受冊命、……武宗即位、遣嗣澤王溶、告喪、始知易代、其年爲黠戛斯所害」と見ゆ、又舊唐書李德裕傳にも「開成末廻紇爲黠戛斯所攻、戰敗、部族離散、烏介可汗奉太和公主南來」と記し、新唐書同傳に「回鶻自開成時爲黠戛斯所破」と記せるも、亦可汗の死を開成五年に置くべき一證なり。^{〔二五九〕}

崇徳可汗は長慶元年（八二一年）五月多くの使を遣して既に前可汗に許されたる永安公主の降嫁を迎へんとしたるが、唐は更めて其の妹太和公主を降すこととし、同年七月公主は程を發して回鶻に赴けり、かくて回鶻は前代可汗以來の宿志を達して、唐との和親を結びたりしが、會々此の年七月唐にては幽州及び鎮州の軍人亂を爲すあり、八月裴度を以て幽鎮招撫使とし、之を討たしむるに至りしかば、^{〔二六〇〕} 回鶻は唐に請ひ、軍を遣して官軍を援け、其の戡